

紀伊山地の霊場と参詣道

伊勢神宮

宇治橋

「お伊勢さん」「大神宮さん」と親しく呼ばれる伊勢神宮は、正式には「神宮」といいます。神宮には、皇室の御祖先の神と仰ぎ、私たち国民の大御祖神（おおみやがみ）として崇敬を集める天照大御神（あまてらすおおみかみ）をお祀りする内宮（皇大神宮）と、衣食住を始め産業の守り神である豊受大御神（とようけのおおみかみ）をお祀りする外宮（豊受大神宮）を始め、14所の別宮、43所の摂社、24の末社、42の所管社があります。これら125の宮社すべてをふくめて神宮といえます。



内宮正宮



外宮正宮



神楽殿

伊勢神宮（内宮・外宮）

皇大神宮（内宮）と豊受大神宮（外宮）の二宮を中心とした125社からなる。参拝は外宮から内宮へ参拝するのがならわし。古来の建築様式の一つである「唯一神明造」の御正殿、樹齢数百年の杉…全てが荘厳。

伊勢おかげ横丁

伊勢神宮内宮門前町の真ん中にある「おかげ横丁」。およそ60店舗からなる町で、老舗の味、名産、歴史、風習、人情など、この土地の魅力が凝縮されている。一年を通して、伊勢地方ならではの、「まつり」や「市」が行われ、季節の移り変わりが楽しめる。



ビジネスホテルから 伊勢神宮 まで 90分